



福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com



<http://www.f-rotary.com/>

本日のプログラム

- 新会員スピーチ
- 会員スピーチ

福島競馬場 場長 **勝見浩二** 会員
 社会奉仕委員 **渡邊又夫** 会員

会長あいさつ

第 11 回会長挨拶

古侯 猛 会長



地区大会に引き続き、先週はガバナー公式訪問と大変皆様お疲れ様でした。今週もさらにガバナー歓迎晩餐会も 7 日（金）に二本松で開催されます。参加の方々は宜しくお願いします。今月 10 月、13 日（木）のお月見会そして当日のコンペ、さらには 27 日（木）のマスコミ懇談会、月末には旅行も控えており、皆様、公私共に大変お忙しいとは存じますが、宜しくお願いします。

話は変わりますが、当クラブには双子クラブ RI 第 3800 地区マリキナロータリークラブと友好クラブである RI 第 3520 地区台北文湖ロータリークラブがあります。双子クラブ（または姉妹クラブ）とは、国際理解と親善を深め、共同で奉仕プロジェクトに取り組むために、海外のクラブと長期的な関係を結ぶものであります。今後も色々な形で交流を続けたいと思います。マリキナロータリークラブとは来月は更新の時期でありますので、前の理事会で決定したとおり、また 3 年の更新をいたします。

当クラブには残念ながら、国内に友好クラブがございません。今年度は近い将来に国内友好クラブ締結を目指して、社会奉仕委員会 坪井委員長を中心に検討をしていただいております。例えば、会津若松西ロータリークラブにおいては、鹿児島中央ロータリークラブと友好盟約というものを結び交流を深めていることとあります。戊辰戦争で会津と薩摩が戦った歴史により、近代日本の礎となった、会津および薩摩の土風を今の若者に伝えていきたいと思いのようでもあります。当クラブも色々な観点から慎重に検討を重ね、友好クラブというものを探して参りたいと思います。

例会次第

- 開会点鐘 古侯 猛 会長
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- ソングリーダー 菅野 晋 会員
- 「四つのテスト」唱和 三木エリカ 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 10月誕生祝い
- 会長あいさつ 古侯 猛 会長
- 食事
- 幹事報告 菅野裕一 幹事
- 各委員会報告
- プログラム・ニコニコBOX小委員会
- ニコニコBOX 熊坂仁美 委員
- ◎本日のプログラム
- 開会点鐘 古侯 猛 会長



例会プログラムのご案内

- 10月7日（金） 二本松御苑
 県北第一分区ガバナー歓迎晩餐会 18:30 ~
- 10月13日（木） パーシモンCC
 福島RCゴルフコンペ 8:22スタート
- 10月13日（木） 石 林
 お月見会 陳建一料理会 18:30 ~
- 10月20日（木）
 理事会承認休会 1 回目
- 10月27日（木） 辰巳屋
 マスコミ懇談会 11:00 ~ 12:30
 （出席者は 会長・幹事・会長エレクト、広報マルチメディア雑誌、R情報・クラブ会報・資料小委員会・副幹事・他希望者）
 通常例会 12:30 ~ 13:30 マスコミ関係者よりスピーチ
 *「友」10月号紹介

幹事報告

- 例会変更のお知らせ
- 次週 13 日はお月見会となります。
- その他のお知らせ
- 2016年6月アトランタ国際大会、ロータリー財団 100 周年を祝うプロジェクトが組まれております。詳細はオンラインにて照会されておりますのでご利用ください。
- 本日後 6 時より新会員セミナー、午後 6 時 30 分より 10 月理事会が辰巳屋にて開催されます。

新会員スピーチ

福島競馬場 場長 勝見浩二 会員



この3月に福島競馬場の場長として赴任、4月より栄えある福島ロータリークラブの会員として認めていただきました。本日はスピーチの機会を与えていただきましたので、自己紹介を兼ねて自身の略歴紹介、JRAでの業務内容と、あまり知られていない企業活動の一端を紹介します。

略歴

昭和35年生れ56歳千葉県船橋市出身

(現在市川市在住、単身赴任)

明治大学 工学部 電子通信工学科卒業

昭和60年4月JRA入会今年で31年目

学生時代は馬術部に所属

きっかけは生田校舎に馬場があったため興味をそそられました。明大馬術部は2000年シドニー五輪以降、延べ10名のオリンピック選手を輩出した馬術の名門ですが、在籍していた昭和55～59年(1980～85年)はまだやっと全日本学生で戦える程度でした。そんな中でもかなり熱心に部活に打ち込んでいたこともあり、4回生時には全日本学生個人戦で上位に入賞することもできました。おかげで大学は5年間通うことになりました。

JRAへの就職

馬に乗っていたことにも関連し、競馬にも自然と興味を持つようになります。学生時代にミスターシービー・シンボリルドルフと2年連続で3冠馬が誕生した時代であり、(またジャパンカップが創設され強い外国馬が来日し府中のターフで日本馬を圧倒したシーンなどもあり)それなりに興奮して見ていました。ただし、就職先としては競馬を主催する競馬会とは結びつきませんでした。5回生時に本格的に就職活動を行うにあたり就職課へ相談したところ、「電子工学とウマと両方生かせる就職先がある」と初めて競馬会への就職の道を知り、受験したのがきっかけ。運よく合格し、以降技術系を中心にJRAでの職歴を積むことになりました。

JRAでの職歴

就職後14年間は施設関連の部署に所属。主に建物の電気・設備関連の工事発注や維持補修。その間本部の施設部(設備課)以外では新潟競馬場・中山競馬場の建築設備部門にも在籍。就職当時は「技術採用」と言いながら技術が生かされる場面はほとんど無く、全てが1からの勉強で思い悩んだ時期もありましたが、JRAでの仕事が「2本立て」であるという特徴があり、毎土日に競馬場やウ

インズ、時には札幌や小倉といった縁の無かった土地への出張等があり、上手い具合に切り替えができ今まで続けられた要因の1つかも知れません。

15年目の平成11年からは映像関連の仕事を担当。場内のテレビモニターやターフビジョンの放映管理やコンテンツ制作等にも関わりました。それが講じてその3年後の平成14年から3年間、グリーンチャンネルへ出向。ここでは技術部門からは完全に離れたコンテンツ制作部門の責任者として赴任しました。今振り返るとこの時の仕事が一番面白く自分に向いていたように思えます。番組を制作する過程に費やす膨大な時間と労力等が非常に新鮮であり、興味深かったです。(その頃立ち上げた番組に競馬場に著名人を連れて行き、実際に馬券を買わせる「競馬場の達人」という番組は、今でもグリーンチャンネルの中では人気の高い番組であると聞く。)

3年後の平成17年にはまた施設部門に戻り、阪神競馬場、美浦トレーニング・センターの建築設備課へ。阪神競馬場時代では、予めから「外枠が絶対不利」と言われていた桜花賞で使用する芝1,600mのトリッキーな形状を改修する「外回りコース」を新設する工事に携わったことが印象に残っています。

また平成20年に今度は馬券の集計を行う部署である本部のシステム統括部門のトータリゼータ課を経験。この頃に先週日曜日に凱旋門賞の馬券発売をいよいよ実施しましたが、海外レースの発売というテーマに取組み始めた時期でもあり、「国内独自のプールとする」「インターネット発売に限定する」といった大枠を定めた時期でもありました。

平成22年には三度施設部門に戻り、以降については施設全般を統括する立場となり、今年福島競馬場に赴任するまで執務したというのが大まかな略歴です。

JRAの環境への取り組み

平成24年から2年間は施設部内に属する「環境対策室」を見ることとなり、CO₂削減やゴミの減量化といった取り組みに携わっています。施設部の中では建築や設備・土木と言った部門からみると地味な部署ではありますが、企業の社会的責任を果たす重要な部署であり、競馬ファンの皆様もご存じない意外なリサイクル手法等も存在するのでその内容を一部紹介します。

(資料はHPに掲載したものをコピーしたものです)

JRA-RAP90

JRAでは排出物のリサイクル率を90%に設定する取り組みを平成20年より行っており、これまで毎年達成しています。競馬場やウインズだけを見ている一般のお客様からすれば信じられないリサイクル率かと思われるかと

思いますが、これにはからくりがあり、実はJRAの排出物の8割近く(78.1%)が「使用済馬房敷料」所謂寝わらであり、重量にすると55,000t(日量152t)にもなります。但しこれ等は両トレーニング・センター内にある「コンポストプラント」を利用し全て堆肥化されリサイクルしていることから、寝藁の全体のリサイクル率も99.8%(H27実績)であったことに大きく起因しています。

競馬開催に関する排出物のリサイクル目標値50%

そこで、より「環境にやさしい企業」としての取組みを明確化させるために標記を目標に取り入れ、競馬場やウイーンズでの排出物をなるべくリサイクルするような取組みにも力を入れることとし「競馬開催に関する排出物のリサイクル目標値50%」を設定。具体的な取組み内容は「分別回収」や「クリーンキャンペーン」の実施。お客様への協力を呼びかけています。

中でもペットボトルのリサイクルは、東京・中山競馬場の例ですが、(資料の4ページ目) ペットボトルをリサイクル工場へ持って行き、不織布や糸に加工し競走用ゼッケンや清掃員用ユニフォームへリサイクルし再利用を行っています。東京・中山のレースで使用するゼッケン(約15,000頭分)は100%リサイクルゼッケンです。

温室効果ガス排出抑制対策

JRAも省エネ法に基づいた温室効果ガス排出抑制のための施策に取り組んでいます。主に近年の節電機運の高まりによる電力使用量削減によるところが大きいです。運用や省エネ機器の積極的導入による効果は常に意識し機種選定を行うよう心がけています。

また、太陽光発電システムを平成24年～26年にかけて4事業所(資料の7ページ目、最後のページ参照)に導

入し、事業運営の効率化を図るとともに「地域社会への貢献」をおこなっているところです。

アジア競馬会議2014

同ページの最後に載っているのは2年前の「アジア競馬会議」という競馬の国際会議において「JRAの取り組む環境対策」というテーマで今説明したような内容を発表したいときの写真です。国際会議であるため英語でのスピーチだったので非常に緊張したことを覚えています。つたない英語でも分かりやすいように、ペットボトルのリサイクルについて実際に工場へ行って撮影した映像や動画を交え説明を行いました。参加国からは非常に関心を持ってもらえたことを記憶しています。おかげで「質問などは出ませんから」と言われていたのに結構質問が寄せられ、往生したことも記憶しています。

以上で私の経歴・職歴等の紹介を終わりますが、せっかくの機会ですので、11月の開催等について宣伝を兼ねて紹介させていただきます。



第3回福島競馬は11月5日から20日まで開催



ラーメンフェスティバル(明日10月7日から11日まで)

会員スピーチ

社会奉仕委員会 渡邊又夫 会員



猪苗代湖(以下湖いう)は琵琶湖、霞ヶ浦*、サロマ湖*(汽水湖)に次ぐ4位の湖ですが、標高514m、水深約93m、透明度10m、弱酸性の湖として水質日本一(群)にランクされる美しい湖です。しかし、15年程前から水質の中性化と富栄養化が進み、COD(化学的酸素要求量)が上昇して、平成18年には大腸菌群数が基準値を超え、湖は水質評価ランク外となってしまいました。

それに対する有用な対策は「漂着枯死した水草を回収し、COD値を下げ、よって大腸菌群数を環境基準値内に戻すことであり、水質評価の対象となれば、湖は再び水質日本一(群)となります。単純作業だが多人数でかつ長期間継続すれば効果的であります」(猪水協顧問中

村玄正日大名誉教授)。

6年前から地区の社会奉仕事業として全クラブ参加となり、湖北部の天神浜などの漂着水草回収に努めました。湖心のPH6.8は変わらずですが、CDO値は平成24年1.1mg/lから0.1mg下がりましたが、大腸菌群数は昨年9月の1回だけ基準値をクリアできず、残念ながらランク外となりました。しかし、共同実施団体である「清らかな湖・研究協議会(会長中村玄正氏)」が昨年、「日本水大賞・環境大臣賞」を受章しました。

福島クラブは10月22日(土)、水草回収を行いますので是非ご参加ください。(午前9時西口発バス乗車、終了後石林で昼食打上げ)

こう述べれば簡単ですが、この活動には、実は10数年前、福島クラブが提唱し、流域の全クラブが参加する「あぶくま清流協議会」、これが原点にあるのです。当時、阿武隈川は東北で水質ワーストワンの河川でした。阿久津G年度にシンポジウム開催、同地区大会の大会

決議、協議会の設立、各種セミナーの開催、そして流域クラブは環境イベントを開催しました。(源流は白河西RC、中流域は郡山南RC、下流域では梁川RC、阿武隈河口では宮城岩沼RC)。福島クラブは三大学水泳部による50年ぶりの「阿武隈川水泳大会」を4年連続開催し、世間を驚かせました。協議会の正副会長に阿久津PG、白岩康夫分区代理、事務局長愚生のコンビで10年間やり遂げてようやく最悪河川を脱却したところ、猪苗代湖の水質汚染が問題となりました。こうしてこの活動は次へと引継がれた訳です。

今夏も四大学水泳大会がありました。猪苗代湖心の船上からのダイビングは彼らの終生忘れられない清冽な印象を残したことでしょう。

福島の阿武隈川は橋上から見ると川底が見えるほど綺麗になりました。♪清き流れの阿武隈は わが故郷の誇りなり。秋鮭の感動的な遡上も身近に見ることができるでしょう。

ロータリーの奉仕活動の実例としてお判り戴ければ嬉しい限りです。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



●ゲスト
芳賀 裕 様 (福島中央RC)

県北第一分区ガバナー歓迎晩餐会



10月7日(金)二本松市「二本松御苑」に於いて【県北第一分区ガバナー歓迎晩餐会】が二本松あだたらRCホストのもと催されました。

当福島RCより阿久津PGご夫妻、古俣会長、菅野幹事他8名が出席致しました。

10月誕生祝い～おめでとうございます～



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 丹治正博 会員
昭和30年10月4日 | 佐藤康太郎 会員
昭和42年10月16日 |
| 後藤忠久 会員
昭和30年10月6日 | 阿部力哉 会員
昭和7年10月23日 |
| 岡田新也 会員
昭和48年10月12日 | 海野卓哉 会員
昭和22年10月27日 |

私のひとこと

小原 敏 会員



今年3月、福島RC65周年祝賀会に参列された台北文湖ロータリアンの中のご夫婦にご無理なご用をお願いしました。しばらく前に大災害をもたらした台南大地震で被災し、かつて本校を訪問した台南市六信高級中学へ、本校の生徒達が集めた義援金を届けて頂くというものでした。突然のお願いにもかかわらず、快くお引き受け頂き感動しました。その後現地の校長、教職員、生徒一同の連名で心温まるお礼状が届きました。あの東日本大震災の直後、多くの義損金をロータリアンを通し、真っ先に本校に届けてくれたのもその台湾の高校生達でした。今後、両国のRCさらには両国の友好関係が益々緊密になる事を願って。

ニコニコBOX報告 (報告)熊坂仁美 委員

本日のニコニコBOX投入額 40件 ¥78,000 累計 ¥889,000

古俣 猛 会長

今月もロータリー活動・行事大変忙しくなります。皆様宜しくお祈りします。

本日の勝見浩二会員のスピーチ大変楽しみにしております。

阿部力哉 会員

台風18号も無事に通り過ぎ、天高く馬肥ゆる秋の本格的な到来となりました。

今月は私の誕生月で良い会となりました

増子 勉 会員

11月5日(土)に福島市音楽堂にて開催されます毎日新聞講演会に、元田中善六PG夫人 須美子様が対談で登壇されます。チラシをテーブルにご案内しましたので是非お越しください。

勝見浩二 会員

本日新会員スピーチをさせていただきます。宜しくお祈り致します。

中尾根康宏 会員

勝見場長のスピーチを楽しみにしています。

他クラブ会員より/吉田大樹/小林仁一/佐藤美奈子/菅野晴隆/土屋敦雄/佐藤康太郎/野原邦亮/高倉裕行/信国一郎/江刺家宏樹/浦部 博/靄丸直久/児玉健夫/茂木正志/三木エリカ/八子英器/久保田吉朗/茂田士郎/今井理基夫/安藤健次郎/氏川守義/加納武志/黒崎浩一/八巻恵一/辺見哲郎/安藤錬雄/菅野裕一/熊坂仁美/加藤義朋/坪井大雄/相良元章/岡田新也/佐藤英典/後藤洋伸/田沼紀美子